

5、メロディーをひきましょう。(その-2)

* 譜例-18の練習と並行して、音符や楽譜について少し勉強しましょう。

- まず、これまで出てきた音と、音符の種類を整理しておきます。
譜例-18の練習と並行して、先へ進んで下さい。
低い方から巡に並べるので、五線内の位置と、弦とフレットの位置をできるだけおぼえましょう。

譜例-19

* 音符横の数字はフレット番号。
0は開放弦(弦を押さない)。
音符上の丸内の数字は弦番号。

譜例-20

※音符の種類

音符は、全音符を2分割したものを2分音符、
同じく、4分割したものを4分音符と呼んでいます。

| | | |
|---|---|---|
| 全 | 二 | 四 |
| 音 | 分 | 分 |
| 符 | 音 | 音 |
| | 符 | 符 |

- 階名のこと
階名は「ドレミファソラシ」の7種類しかありません。
この前にもあとにも「ドレミファソラシ」があるだけです。
- 譜例-23に音を加えて、オクターブの音階を完成させてみましょう。

譜例-21

音符上の*印は新しく加えた音です。数字はフレット番号。

●音階練習

譜例-22

* 数字は指番号

※次第に五線譜に加えられる情報が増えています。できるだけおぼえるようにして下さい。

- ポジション (pos.) のこと
ギター演奏では、ポジション移動が不可欠です。1指が受け持つフレットの番号で何ポジションかが決まります。1フレットであれば1pos. 3フレットであれば3pos. 5フレットであれば5pos. などですが、一般的には pos. の指定は省略されています。
譜例-22の音階練習をゆっくりとしたテンポでくり返す練習をして下さい。